

6月 赤れんが通信

赤れんが通信（中国語版）は北海道庁の于柳青枝（ウ リュウセイシ）国際交流員が執筆しています。
北海道の情報や国際交流事業などについて書いたレポートです。

赤か白か？ 中国と日本のおめでたい色

7、8年前の日本旅行の際、神社で挙式を偶然に見かけました。新婦が真白な白無垢^{しろむく}を着て、大きい白い帽子をかぶり、新郎とゆっくりと神社の中を歩き、2人が笑いあった瞬間、彼女の笑顔は幸せそのものでした。

5月、道庁の同僚が北海道神宮で結婚式を挙げましたので、彼の誘いで参列しました。

日本と中国の結婚式の相違点や共通点は何でしょう？今回は、両国の結婚式について紹介したいと思います。

式当日朝9時、タクシーで神社へ向かいました。運転

手さんは私が結婚式に参列することを知り、いろいろ紹介してくれました。「神前式の新婦は白無垢のほか、

髪型も特別です。角隠しと

綿帽子^{わたぼうし}2種類がありますから、楽しみにしてください。」

運転手さんと話しながら、

神社に到着しました。新郎

新婦と挨拶してから控え室

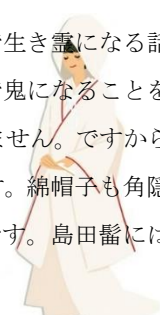
に案内されました。そこで、

両家の親族と一緒に自己紹介をして、巫女の先導で皆

が本殿に入りました。



角隠し^{つのかく}は「角を隠す」という意味です。日本では、紫式部が書いた『源氏物語』では六条御息所が嫉妬で生き霊になる話があり、女性は嫉妬に狂うと鬼になるといわれます。角は鬼の象徴であり、角隠しは、白い布をつけることで鬼になることを防ぎ、従順でしとやかな妻になるという意味があります。一方、「綿帽子」は挙式のみ、白無垢にしか合わせません。ですから、綿帽子も角隠しも両方をやってみたい女性は、挙式は白無垢に綿帽子、披露宴は色打掛に角隠しを選びます。綿帽子も角隠しも、新婦の髪飾りですが、髪型は「文金高島田^{ぶんきんたかしまだ}」です。「島田髷^{しまだまげ}」は江戸時代に流行した未婚女性の髪型です。島田髷にはいろいろな種類があり、まげを一番高い位置で結った「文金高島田」は最も華やかだと言われます。





立派な本殿に入ると、^{さいしゅ み こ れいじん}斎主、巫女と伶人はすでに両側にスタンバイしており、新郎新婦が着席した後、式が始まりました。式は約1時間、静かで厳かな雰囲気の中で終わりました。日本では、新郎新婦は式の後、ホテルで披露宴を開催することが普通です。二次会を開くこともあります。神前式は、一般的には次の流れで行われています。



- ・参進の儀：斎主・巫女に導かれて、新郎新婦、両家の親、親族の順に本殿まで進みます
- ・誓詞奏上：^{せいつし そうじょう}新郎新婦が神前に進み出て、誓いの言葉を読み上げます
- ・修祓：^{しゅばつ}斎主が^{はらえことば}祓詞を述べ、身の穢れをはらい清めます
- ・指輪の交換：結婚指輪の交換をする。もともとは神前式にはなかった儀式ですが、昭和 30 年代から取り入れるようになりました
- ・祝詞奏上：^{のりとそうじょう}斎主が神前にふたりの結婚を報告し、幸せが永遠に続くよう祈ります
- ・玉串奉奠：^{たまぐしほうてん}新郎新婦が玉串をささげ、「二拝二拍手一礼」の礼
- ・誓杯の儀（三々九度の盃）：^{せいはい}新郎新婦が大中小 3 つの杯で
- ・親族盃の儀：^{しんぞくはい}親をはじめ親族が順にお神酒をいただきます
- 交互にお神酒をいただくことで、永遠の契りを結びます
- ・斎主祝辞：斎主が、結婚の儀が終了したことを報告します
- ・神楽奉納：^{かぐらほうのう}巫女が神楽に合わせて舞を奉納します
- ・神職、新郎新婦、仲人、親族の順番で退場します



中国では、時代によって結婚式の内容が異なりますが、伝統的には主に「^{サンシュリーウリ}三書六礼」から始まります。

「三書」は「^{ピンシュ}聘書、^{リシュ}礼書、^{インシュ}迎書」で、六礼は「^{ナツアイ}納采、^{ウエンミン}問名、^{ナー ジ}納吉、^{ナーチン}納征、^{チンチー}請期、^{チンイン}親迎」です。聘書は婚約を決める時の婚約書、礼書は男性側が女性側へ贈る貴重品のリスト、迎書は新婦を迎える時に使う書類です。「三書」は結婚する時に必要な書類で、六礼は結婚の具体的な流れです。

今の中国では、大都市も農村部も結婚式は昔と比べて大幅に簡素化されています。昔は、結婚式の朝、新郎は伝統的な楽器隊と花轎^{フアンジャウ}を率いて銅鑼とスオナ（木管楽器）を鳴らしながら新婦を迎えていました。新婦の親と先祖の祠堂^{しどう}に拝謁し、新婦を花轎に乗せて自宅に戻ります。現代では、新郎は飾られた高級な^{ファンチャー}婚車を数台用意し、新婦の家へ迎えに行きます。新郎は新婦の両親と挨拶し、部屋にいる新婦を迎えるために伴娘^{バンニヤン}（新婦の未婚姉妹や友達）たちとやりとりをしたり、「接親ゲーム」^{チエチン}（新婦を迎え入れるための課題）にチャレンジしてやっと新婦を迎えることができます。

納采	・男性側が仲人を介して女性側へ礼物を贈り、求婚します。マガンがよく使われ、受け取ることで求婚承諾とします
問名	・仲人を介して吉凶を占うために女性の姓氏を問い、生年月日時（干支）、外見、家族状況を訊ねます
納吉	・男性側が占いをし、占いの結果がよければ、この婚約を仮確定します
納徴	・女性側へ貴重品の礼物を贈り、正式な婚約とします
請期	・男性側が結婚式の期日を選び、女性側へ伝え女性側の承諾を待ちます
親迎	・新郎と仲人が礼物を持って女性側へ出向き、花嫁の親と先祖祠堂に排調し、花嫁を輿に乗せ男性宅へ迎え入れます

2 人が会場に着いたら、盛大に爆竹^{ばくちく}を鳴らして邪気を追い払い、幸運を招きます。爆竹音と楽器の演奏は喜びの熱気や雰囲気盛り上げます。昔は、新郎は3本の魔除けの矢を軽く新婦に向かって放ち、新婦は「鞍^{くら}跨ぎ」と「火鉢^{ひばち}跨ぎ」をして、安全と幸福な日々を送れるよう祈りました。



また、中国の結婚式で欠かせない部分は「^{バイタン}拜堂」です。まずは「^{イバイ タン ディ}一拜天地」と言い、天地の神に向かって礼をします。次は「^{アルバイガオタン}二拜高堂」で、新郎新婦が両親に向かって礼をします。最後は「^{フーチーデウイバイ}夫妻对拜」で、新郎新婦が向き合い互いに礼をします。拜堂後、新郎は竿^{ホンガイトウ}を使って「紅蓋頭」(花嫁が頭にかぶる赤い布)を取り除き、指輪を交換し、酒を交わします。式が終わってから、新婦が着替えて、もう一度新郎と一緒に来客のテーブルを回り、乾杯し合います。昔の中国の結婚式はとても複雑なので、今では一部の農村部には、まだその風習が残っていますが、都会ではほとんど簡素化や西洋化されています。

中国式の賑やかさと比べ、日本の神前式はとても厳かです。日中両国は昔から文化交流が続いていますが、結婚式では全く違う方向へ発展していきました。日本は厳かで静か、中国は賑やかで陽気、日本は白、中国は赤です。日本の白無垢は「神聖」を表すとともに「嫁ぎ先の家風に染まる」という意味合いを持っています。中国の赤は喜びを意味し、式は西洋風の白いドレスでも、乾杯しあう前に必ず赤いドレスへ着替えます。赤と白、陽気と静か、という違いはありますが、いずれの結婚式もお互いの風習や文化が凝縮され、新郎新婦2人への祝福が込められています。



5 月でも桜！～北海道と中国のさくらスポット紹介～

シアウユアンシンチョンホンイシュー シェンルアオファジビエンダンユー
「小園新種紅櫻樹、閑繞花枝便当游」（庭に新しく植えた桜が咲き、散策気分を味わう） 唐・白居易

昔から、私は中国新疆ウイグル自治区のテケス県の八卦城やスペインのバルセロナのサグラダファミリアなど、特殊な形をした建物や都市に興味を持っています。北海道地図を見ていると、小さな五芒星が目にとまりました。そこで、この春休みに、私は韓国国際交流員の宋旼眞さんと一緒に道南の函館に出かけて、その小さな五芒星である五稜郭を訪れました。

五稜郭は、江戸時代末期に江戸幕府が蝦夷地の箱館（現在の北海道函館市）郊外に築造した稜堡式の城郭です。1914 年から五稜郭公園として一般開放され、現在は約 1,600 本のソメイヨシノがあり、北海道内有数の花見の名所となっています。



バスを降りますと、松前道の美しい桜に惹かれました。淡いピンクの花びらが妖精のように暖かい日差しの中でひらひら

と舞い上がっています。松前道に沿って進みますと、ちょうど桜が満開の五稜郭公園に入りました。五稜郭タワーに上りますと、五稜郭の全景を見渡せます。上から見ると、五稜郭の外側は桜の木が並んでいてピンクの五芒星に見えます。

旼眞さんと五芒星の輪郭に沿って散策していました。花見に来た人たちは家族や友たちと一緒に桜の木の下に座り、笑いながらこのきれいな春を楽しんでいました。「国を問わず、だれもがこの自然の美景に恍惚とします」と私も感心しました。中国でも、皆さんが春に友人や家族と出かけ、桜だけではなく、梅、梨の花、あんずの花なども見に行きます。

3 月の京都や東京と比べ、私は 4 月末や 5 月初めの北海道の桜が好きです。毎年 3 月下旬から 4 月上旬まで、清水寺、上野公園や目黒など花見に来る観光客が殺到し、どこも混雑します。でも函館の五稜郭公園で、私は初めて白居易の漢詩「小園新種紅櫻樹、閑繞花枝便当游」（庭に新しく植えた桜が咲き、散策気分を味わう）が書かれたようにのんびりとした気分を味わいました。



もちろん、函館の五稜郭公園以外にも、北海道には花見の名所がたくさんあります。ここで、北海道と中国の花見名所を皆さんにご紹介いたします。来年の春、皆さん、ぜひ桜を見に来てくださいね。

北海道の桜の名所

札幌市内 中島公園/円山公園/北海道神宮

見頃：毎年 4 月下旬

中島公園と円山公園は、札幌有数の桜の名所で、緑溢れる市民憩いの公園として知られています。北海道神宮は円山公園に隣接し、春には約 1,400 本の桜と約 250 本の梅がほぼ同時に開花し、花見スポットとして親しまれ、毎年大勢の人で賑わいます。



北海道新ひだか町：しずない二十間道路桜並木

所在地：北海道新ひだか町静内田原～静内御園

見頃：毎年 5 月上旬～中旬

紹介：北海道を代表する桜の名所。直線約 7km の道路脇におよそ 2,200 本の桜が並びます。



松前町：松前公園

所在地：北海道松前町松城

見頃：毎年 4 月下旬～5 月上旬

紹介：約 248,000 平方メートルもの広さを誇る松前公園。およそ 250 種 10,000 本の桜が植えられ、早咲き、中咲き、遅咲きと約 1 ヶ月にわたって美しい桜を楽しむことができる、日本さくら名所 100 選にも選定されている花見スポットです。



中国の桜の名所

湖北省武漢市：武漢大学

所在地：武昌区ハ一路 299 号武漢大学キャンパス内

見頃：毎年 3 月の下旬～4 月上旬

武漢大学の桜は山桜をはじめ、早咲き桜、遅咲き桜、枝垂れ

桜といった等 6 種類、10

余品種の桜を揃えています。

灰色の外壁と孔雀色

の青い瑠璃ガラスの瓦か

らなる中国古典建築と西



洋復古主義の粋を取り入れられた建物は豊かな自然に囲ま

れ、独特の魅力を持っています。

江蘇省無錫市：鼋頭渚

所在地：無錫市濱湖区鼋渚路 1 号

見頃：毎年 3 月下旬

鼋頭渚美しい桜と日本は、深い縁で結ばれています。1986

年、坂本敬四郎さんと長谷川清巳さんが「日本友誼林建設

実行委員会」を發起・設

立し、桜の苗木を無錫市

に贈呈したことで、両国

の民間友好交流活動が始

まりました。中日桜友誼

林が 37 年にわたり、中日友好事業に携わる人々は、鼋頭渚

内に計 3 万本以上・約 100 種類の桜の木を植え、鼋頭渚が

中国においてかなりの規模を持つ桜の名所となりました。

北京市：玉淵潭公園

所在地：北京市海淀区西三環中路 10 号

見頃：毎年 3 月の下旬～4 月の下旬

玉淵潭公園には、34 種約 2800 本の桜の木があります。早咲

きから遅咲きまで、約 1 か月にわたって花見ができ、毎年

延べ 100 万人規模の花見客を引き付けています。1972 年、

田中角栄首相が両国の国交正常化を記念するために、1000

本の桜の苗木を中国に贈り、その中の 180 本が玉淵潭公園

に植えられました。気候や土壌の違いを乗り越え、苗木を

園内で活着させ、しかも、桜名所の公園に育て上げたのに

は、実に多くの人の深い思いが詰まっています。





端午の節句

日本では明治五年、明治維新により「明治改暦」が実施され、長い間使われてきた太陰太陽暦を西暦に変更しました。改暦に伴い、多くの伝統行事もそのまま新暦に移され、もともと旧暦の 5 月 5 日の端午の節句は、西暦の 5 月 5 日になりました。端午の節句は、菖蒲の節句も言います。こどもの日も 5 月 5 日です。

中国では端午の節句は端午節と呼ばれ、^{ちまき}粽が定番です。粽に関する最古の



記録は漢の時代まで遡れます。^{ジン}晋の時代になると、^{ジョンシャドアンウ}「仲夏端午、^{ベンウジャウシ}烹鰲角黍」(鰲:アヒル;角黍:粽)という記載が残り、粽は端午節の定番となりました。千年の時を経て、粽は今中国人にとって日常の食品になりました。端午節でなくても、肉粽、あん粽、塩卵入り粽など、さまざまな粽が買えます。

日本では、粽は和菓子に分類されました。かつて和菓子を学んだ時、和菓子の粽の作り方と中国の粽の



作り方はずいぶん異なっていると思いました。和菓子の粽は蒸したうるち米をつき、笹やチガヤで包

み、イグサで縛ってゆでた食べ物です。日本の粽の種類は中国より少なく、基本的に甘いです。

端午節の由来は、広く知られているのは、戦国時代

の有名な詩人^{チウユアン}屈原の逸話ですが、実は春秋時代にはすでに端午節が存在していたことがわかっています。

端午節の時^{シオンファンジュウ}チウセンヨモギを飾り、雄黄酒(蒸留酒の白酒と雄黄:天然の硫化ヒ素の一種などを混ぜた酒)を飲み、^{リウサンキョウソウ}竜船競漕(ドラゴンボートレース)などもして、魔除けと病気の防ぎとともに、先祖も偲びます。

日本では昔から菖蒲を髪飾りにし

た人々が宮中に集い、天皇から^{くすだま}薬玉(薬草を丸く固めて飾りを付けたもの)



を賜りました。貴族たちも病気の予防や悪霊を追い払うための薬玉を作り、お互いに贈りあう習慣があります。鎌倉時代以降になると、「菖蒲」が「尚武」と同じ読みであることと菖蒲の葉の形が剣を連想させることなどから、端午の節句は男の子の健やかな成長と健康を祈る行事になりました。現在では、端午の節句の時、庭前に鯉のぼりを立て、子供の健康を祈ることが定番です。今年端午の節句の時、私は札幌近郊の定山溪温泉の溪流鯉のぼりを見に行きました。色とりどりの鯉のぼりが桜満開の溪谷の空を舞う姿は、家々の子供たちの健やかな成長への祈りです。

中国は旧暦の端午節を祝いますので、今年は 6 月 10 日になります。したがって、私は日本の 5 月 5 日の端午の節句だけではなく、中国の 6 月 10 日の端午節を楽しむこともできます。